

JTA TENNIS RULE BOOK 2025

試合に参加される皆様、大会を運営される皆様へ主な改正点をお知らせします。

JTA公式トーナメント：昨年より変更、追加されたルール、諸規則、規定（抜粋）

2025ルールブック参照ページ	オフコートコーチング
ルール オブ テニス 日本語訳 「規則30 コーチング」P23 ルール オブ テニス 日本語訳 「付則IV（新）コーチング」P31 JTA公式トーナメント競技関連規則 「27. オフコートコーチング」P126-127	★コート外からのコーチング(オフコートコーチング)が可能 (※チーム対抗戦でチームキャプテンがコート上に座っている場合はオンコートコーチング可能) 【オフコートコーチング】 ○<u>チェアアンパイアの付く試合にのみ適用</u> ○ポイント間、エンドチェンジ、セットブレイク、およびJTAに許可されたその他のタイミング (ポイントのプレー中を除く) ○コーチング可能な者は、プレーヤーが「指定されたコーチ席」に座ることを許可したサポートチームのメンバー(コーチ、親、友人、競技仲間など) ○<u>簡潔な言葉でのコーチングは、プレーヤーが指定されたコーチ席と同じエンドにいないときのみ許可</u> ○<u>目立たない、言葉ではないコーチングや、ハンドシグナル、ジェスチャーによるコーチングは、選手がどちらのエンドにいても対戦相手の妨害にならないれば許可</u> ○中断中の場合を除き、理由の如何を問わず、プレーヤーがコートを離れるときにそのプレーヤーに話しかけてはならない ○以下の場合に限り、プレーヤーはコーチに近づいたり会話を行うことが許可 ・対戦相手のメディカルタイムアウト中(トレーナーを待つ時間や診察中含む) ・対戦相手のトイレブレイク中 ・ヒートルールによる10分間の休憩の最後の90秒間 ・その他、主審の認めた一時的な中断時 ※コーチの言葉によるコーチング、ハンドシグナル、ジェスチャーが、プレーの妨げになったり、対戦相手の妨害になったりする場合は、コードバイオレーション(コーチング)の対象 ※2025年度はトライアル期間とし、コーチングによるコード違反はサスペンションポイントの対象外

2025ルールブック参照ページ	ボールマークチェックの手順
ルール オブ テニス 日本語訳 「ボールマーク・チェックの手順について」P36	★チェアアンパイアが BMIの最終判定をする前に、プレーヤーが自らボールマークを消した場合は、そのコールが相手に有利な判定であると認めたと判定 (※ボールマークを消す行為は、BMIをするまでもなく相手に有利な判定を認めることを意味)

2025ルールブック参照ページ	ビーチテニス
ルール オブ ビーチテニス 日本語訳 「付則XI ルールオブビーチテニス」P43	ITFルールオブビーチテニスを採用 (URLより参照)

2025ルールブック参照ページ	ラウンドロビン方式における優先順位
JTA公式トーナメント競技関連規則 「優先順位4」P117-118	(3) (2)が同じ場合、全試合での取得ゲーム率が高いチーム(者)が上位 取得ゲーム率=取得したゲーム合計数÷全試合のゲーム合計数 ※全チーム(者)の順位を決定し、残り2チームが同率の場合に限り優先順位3で決定

2025ルールブック参照ページ	ヒートルール後の試合再開の遅延
JTA公式トーナメント競技関連規則 「24. ヒートルール」P120	★10分間の休憩の後、試合の再開に遅れた場合は<u>タイムバイオレーションが連続で科される</u>。 (※2回目以降は、サーバー、レシーバーに関わらずポイントペナルティ)

2025ルールブック参照ページ	メディカルタイムアウトの手順
JTA公式トーナメント競技関連規則 「(3) メディカルタイムアウト(MTO)の手順」P123-124	1試合中、筋ケイレンに対して2回まで、エンドチェンジまたはセットブレイクの時間内でメディカルトリートメントを受けることができる。その2回は連続していなくても良い。 ★ただし、<u>診断をした回はこの2回に含まない</u> (※トレーナーによる診察が入り、チェンジオーバー/セットブレイクを丸々トリートメントに使用できなかった場合は、この2回に含めません。(2回のfull changeoverの時間をトリートメントに使える))

2025ルールブック参照ページ	ベテランツアーのヒートルール
日本ベテランツアー(JVT)の競技規則「(ヒートルール)第6条」P131	JTAの定めるヒートルールに準じる ★各セット5分の休憩ではなくなる
2025ルールブック参照ページ	ノーショウ時のサスペンションポイント
コード オブ コンダクト(JTA公式大会共通) 「3. 試合でのコード1)時間厳守(Punctuality)」P135	ノーショウとなった選手が、試合当日に会場に現れた場合に限り、サスペンションポイント(試合への遅刻)が科される。(※サスペンションポイント(ノーショー(無断欠場))ではない) サスペンションポイントは1点(P145別表に追加)
2025ルールブック参照ページ	服装(女子)の説明文追記
コード オブ コンダクト(JTA公式大会共通) 「2)服装と用具のコード」P135	「女子の袖ありシャツ、前身ごろまたは襟に～」説明文に「コーマーシャルロゴまたは」の文言を追記 【服装規定の図 参照】女子の袖なしの場合と袖につける77.5cm以内のロゴの部分が男子と違う
2025ルールブック参照ページ	ラインアンパイアのトイレブレイク同行時の対応
コートオフィシャルの手引き 「ラインアンパイアの仕事」P190	★トイレブレイク同行時に選手がトイレ以外の行為(携帯電話を使用、コーチと会話、トイレを使用しないなど)をした場合は、規則に違反していることを伝え、止めるよう要求 →コートへ戻ったらチェアアンパイアに報告をする。 ・チェアアンパイアが目撃していないコード違反を目撃した場合は、直ちにチェアアンパイアへ報告 ※トイレブレイク中の違反は、コートに戻った時に主審への報告が必要です。また、オンコートで、主審が目撃していないコード違反を目撃した時は次のポイントが始まる前にすぐに主審に報告する必要があります。
2025ルールブック参照ページ	オフィシャルによるフットフォールのコール
コートオフィシャルの手引き 「1.セルフジャッジの方法 12)C.」P195 コートオフィシャルの手引き 「2. レフェリー、アシスタントレフェリー、ロービングアンパイアの仕事」P196	12) 各判定とコールをする権利者は以下の通りとする。 c. 「フットフォール」はレフェリー(アシスタントレフェリー)、ロービングアンパイアのいずれか。 ★コート内にいるが削除された(コート外からでもコール可能) 3) スタートオブマッチに従って、ウォームアップの前に、プレーヤー・チームの名前、ウェアを確認し、フットフォールはコート内外からコールできることをプレーヤーに伝えトスをする。 * フットフォールはコート外からもコールすることを選択手へ伝える必要がありJTAではプレマッチミーティングで伝えることとする。
2025ルールブック参照ページ	その他変更点
コートオフィシャルの手引き 「審判員のソーシャルメディアの使用について」P201 参考 「国際テニス インテグリティ エージェンシー(ITIA)について」 「コンプライアンス違反行為について」P240 参考 「試合におけるフェアプレイの推進」P241	【審判員のSNSの使用について】を詳細記載 URL(詳細情報)を更新 コロナ対策を削除しセルフジャッジの試合方法の案内を新しく掲載

この他にも、運営上の改正・文章の補足、削除などがあります。
詳しくは、2025ルールブックで確認してください。(改正された項目には、縦線があります)

大会に参加される選手の皆様は、各大会の実施要項が優先されます。
大会会場でインフォメーションを確認して下さい。

2025年度もルール・マナーを守り、フェアプレイ推進のご理解とご協力をお願いします。

2025年4月1日 広島県テニス協会 審判委員会